

平成 20 年度第 1 回 横浜市建築物環境配慮評価認証委員会 会議録	
日時	平成 21 年 3 月 11 日 (水) 午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分まで
開催場所	関内駅前第二ビル 2 階特別会議室
出席者	委員 岩村 和夫 会長 伊香賀 俊治 副会長 吉崎 真司 委員 岩田 利枝 委員 園田 真理子 委員
	説明者 (計画概要の説明) 三菱倉庫株式会社、株式会社 竹中工務店
	事務局 若月 まちづくり調整局 建築審査部長 見学 まちづくり調整局 建築審査部 建築環境課長 肥田 まちづくり調整局 建築審査部 建築環境課 建築環境係長 まちづくり調整局 建築審査部 建築環境課 堀越、西野、吉池
欠席者	なし
開催形態	非公開
議題	横浜ダイヤビルディング について
決定事項	S ランクにて認証
議事 (概略)	<p>CASBEE の評価全般について</p> <p>【Q3-2 まちなみ・景観への配慮、Q3-3.1 地域性への配慮、快適性の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CASBEE で評価する際は、行政等から指導を受けている部分や容積を緩和するための条件として計画している内容は、特に優れた提案ではなく事業上の前提条件であるため、それを殊更に評価はしない。 <p>【Q3-1 生物環境の保全と創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敷地が狭い場合、緑の量が確保できないというデメリットはあるが、CASBEE では緑の質や緑化計画に対する考え方が評価項目に入っているため、限られたスペースの中でどのような工夫を取り入れて計画するかが問われる。 <p>【Q1-1.2.2 界壁遮音性能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・界壁の評価について：テナントによる工事は評価の対象外とし、テナントが入ってから設置されるものは評価しなくても良い。 <p>評価された主な環境配慮項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜駅側の外壁面に、日本最大級の建材一体型太陽光発電パネルを設置し、自然エネルギーを利用。 ・太陽光自動追尾センサーによる自動制御ブラインドや昼光センサーを用いた照明制御を採用し、建物の熱負荷を抑制し、省エネルギー対策に取り組んでいる。 ・制振装置 (ADM) 及び制震装置 (制震ブレース、制震壁) を組み合わせたハイブリッド制振構造を採用し、建物の耐久性を向上している。
資料	1 建築物環境配慮評価認証計画書 2 設計趣旨及び建築計画概要

本会議録は、平成 21 年 7 月 10 日各委員に確認を得、確定しました。